

《単位互換提供科目詳細（シラバス）》

* 科目 No. 2913

科目概要記入欄

1. 開設大学	島根県立大学		開催方法	■対面（浜田キャンパス）		
	□オンライン（同時・録画・資料提示）					
	□対面（ ）・録画					
2. 科目名	正式科目名	国際機構論		クラス名		
	副題			配当年次	2・3	
	旧科目名			受入学年		
	学問分野	番号	42	名称	国際関係	
	サテライトで開講される科目の科目群			A群	B群	
3. 担当教員名	庄司 克宏					
4. 単位数	2単位		5. 開講学期	春学期（集中）		
6. 開講期間 曜日・時間	年 月 日（ ）～ 年 月 日（ ） 調整中 集中講義 9：00～18：00					
個別開講日	1回目 /	2回目 /	3回目 /	4回目 /	5回目 /	6回目 /
	7回目 /	8回目 /	9回目 /	10回目 /	11回目 /	12回目 /
	13回目 /	14回目 /	15回目 /	16回目 /	試験日 /	
7. 基礎知識の有無	2. 「基礎知識を必要としない科目」					
8. 募集人数 （総授業定員）	5人 （人）		9. 定員超過時の 選考方法	書類選考		
10. 科目内容・ 授業計画	<p>政府間国際機構についての基礎を踏まえた後、EUの機構および活動を概観し、普遍的国際機構（例えば、安全保障について国連、通商についてWTO、通貨についてIMF、開発援助について世界銀行、難民問題についてUNHCRなど）をとりあげてEUと比較する。また、アジアにおける地域統合の可能性についてもふれる。補完性原則により、EUでは国家との関係だけでなく、地方自治体との関係も重視されている。その点を日本政府と島根県の関係に投影して比較検討することも行いたい。</p> <p>質疑応答による双方向型授業を行う。</p> <p>【到達目標】</p> <p>グローバル化に伴い、国際社会における国家間の関係が緊密になるにつれて、どのような現象が生じ、いかなる対応が必要となるかについて、EUの先駆的な試みを他の国際機構と比較しつつ参考にしながら、自ら考えることができるようになる</p> <p>第1回 授業の全体にわたる問題提起として、国際社会における国際機構の役割と限界について考える。</p> <p>第2回 国際機構の基礎知識として、定義、分類、歴史、組織、意思決定について学習する。</p> <p>第3回 地域統合の基礎知識として、欧州を事例に、歴史、組織、意思決定について学習する。</p> <p>第4回 国際機構の活動（1）：安全保障① 国連が普遍的国際機構として国際安全保障にどのように貢献し、いかなる限界があるのかを考える。</p> <p>第5回 国際機構の活動（2）：安全保障② 地域的国際機構としてNATOとEUを取り上げ、安全保障上の役割の相違について考える。</p> <p>第6回 国際機構の活動（3）：通商① WTOが普遍的国際機構として通商の自由化にどのように貢献し、いかなる限界があるのかを考える。</p>					

	<p>第7回 国際機構の活動(4):通商② 地域的国際機構としてEUとASEANを取り上げ、通商の自由化における役割の相違について考える。</p> <p>第8回 国際機構の活動(5):通貨・金融① IMFが普遍的国際機構として通貨・金融の分野でどのように貢献し、いかなる限界があるのかを考える。</p> <p>第9回 国際機構の活動(6):通貨・金融② 地域的国際機構としてのEUに設置されている欧州中央銀行(ECB)を取り上げ、どのように金融政策を行っているのかについて考える。</p> <p>第10回 国際機構の活動(7):開発援助① 国連と世界銀行が普遍的国際機構として開発援助の分野でどのように貢献し、いかなる限界があるのかを考える。</p> <p>第11回 国際機構の活動(8):開発援助② 地域的国際機構としてのEUがどのように開発援助を行っているのかについて考える。</p> <p>第12回 国際機構の活動(9):人権① 国連が普遍的国際機構として人権分野でどのように貢献し、いかなる限界があるのかを考える。</p> <p>第13回 国際機構の活動(10):人権② 地域的国際機構としての欧州審議会(および欧州人権裁判所)とEUが人権保護にどのように取り組んでいるのかについて考える。</p> <p>第14回 事例研究:補完性原則に基づき、EU、国家、地方自治体の関係から日本政府と島根県の関係について考える。</p> <p>第15回 結論:国際機構の未来と国家の在り方</p>		
11. 試験・評価方法	<p>成績評価は、下記(イ)と(ロ)の合計点による。レポートなし。</p> <p>(イ) 授業での小テスト(教科書とノート持込可)4~8回(計60点)</p> <p>(ロ) 最終回に教科書の内容に関する試験(教科書のみ持込可)(40点)を行う。</p>		
12. 別途負担費用	<p><購入テキスト></p> <p>庄司克宏著『欧州連合 統治の論理とゆくえ』岩波新書、2007年(定価777円)</p> <p>☆刊行以来、数回大幅加筆しているため、最新改訂版の2016年7月第10刷を入手すること。毎回授業で参照し、小テストにも使用するので、最初の授業から必ず持参すること。</p>		
13. その他特記事項	<p><参考文献></p> <p>庄司克宏編『国際機構』岩波書店、2006年(2021年改訂版 予定)</p>		
14. サテライト科目の 社会人受講について	科目等履修生(単位付与)として受け入れ	可	否
	聴講生(単位認定不要)として受け入れ	可	否

※コロナ禍の影響により、対面授業はオンライン(同時・録画・資料提示)へ変更になる場合があります。